

2007広島市政公開討論会マニフェスト

【～新たなる広島市の創造の為に～】

4

氏名 荒木みづる



I 基本理念『広島市政の現状認識・目指すべき広島市の姿』

(現状認識)
国も地方も「夕張」の一手前であり、広島市も例外ではありません。現況の選挙制度がもたらす「金を目当ての政治」の必然的結果です。金がかからない選挙制度にして、政治家輩に「政治には金がかかる」という口実を与えないようにしなければなりません。
(目指す姿) ヒロシマには、核廃絶の旗がたなびき、核廃絶への実現への使命と責任があります。核廃絶は「世界の安全システム」が創られれば実現します。ヒロシマはその先頭に立ち、世界を導かなければなりません。ヒロシマが核廃絶行動を起こせば、ヒロシマは日本の広島から世界のヒロシマになります。ヒロシマは世界の中心都市として飛躍的に発展するでしょう。

II 短期で行う重要施策（1年以内） ※優先順に3つ

①核廃絶の実現の為、世界に「世界の安全システムを創ろう」と発信を始めます。民主主義の力で、地球市民憲章の誕生を。世界の合意が必要であり、効果的な発信をします。米英仏中ロの軍隊の参謀をヒロシマに招待し、世界警察隊の準備を始めるよう促します。
②核廃絶と五輪の平和パワーを合体させ、強力な平和推進力を創ります。IOCは抑圧社会の地に五輪を計画という間違いをしました。ヒトラーのベルリンで五輪がナチスに利用され、道具にされました。その過ちを繰り返さず、選手諸君を救わなければなりません。
③主権在民。社会の主権者は市民です。各界の市民代表で構成されるヒロシマ市民会議を提案します。核廃絶行動の主体となる組織と考えます。市民の意向を常に明らかにし、行政を導く。

III 中期で行う重要施策（4年以内） ※優先順に3つ

①ドーム球場は税金を使わず市民の力で、一口百万円のドーム債権を発行、そして一口百万円のドームローンを発行。10年返済なら、月額一万円弱。三万人が、この債権を買えば資金は万全。債権は資産。いつでも相場で換金。他の設備でもこの方式。
②現況の福祉行政は机上の福祉です。育児、介護、障害者、生活不能者、失業者、家庭内暴力、いじめ、軽度医療・・・福祉は現場でしか実のある効果を上げることができません。小学校の学区内に一つのサポートセンターの創設が、絶対に必要です。
③企業の社会貢献度指数を創らなければなりません。市民は生活（給料）健康（勤務時間）家族（家庭内手当・産休他）など、人生を不安なく過ごす権利を有してます。企業の利益至上主義で、この権利が侵されてはなりません。この指数が低い企業には、それなりの規制が。

IV 長期で行う重要施策 ※優先順に3つ

①ヒロシマ教育の確立。国の管理統制の教育は否定。独自の地域教育の確立。更にそれぞれの教育現場の個性尊重。教育者は聖職者。デモ・スト厳禁。平均点教育は子供を苦しめる。得意分野を徹底的に伸ばすというスタンスが肝要。受験制度もそれに合わせるべき。
②原子力発電所は市民と地球環境をまもる為に絶対に必要。現況、相当数の原発が稼働。更なる安全システムの開発が肝要。市民サイドで、原発調査員を育成。その資格を持つ者は、世界中の原発をいついかなる状況でも、出入り、調査自由。廃棄物はシベリアの地下に。
③社会を良くするのは、社会技術の開発です。現況の世界が危機的状況にあるのは、社会技術の開発という意識がなかった為です。アメリカの民主主義制度は200年も変わっていません。その弊害が、世界中で噴出しています。社会技術開発システムを創ろう。

広島市長選挙 立候補予定者プロフィール

お名前 荒木 実（あらき みのる）

私は、30年程前に、現状の世界に疑問を持ち、危険を感じました。

それから、生業の傍ら、戦争のない世界の模索を始めました。

12年程前、「地球市民の立場」を発見しました。世界を法治社会にする鍵ですが、それから私は、平和理論研究家として、著書、新聞などを創作し、私なりに努力してきました。

平和理論を実践する為に、核廃絶を実現する為に、チャレンジしています。